

1 年を終えるにあたり

東北・関東大震災のお見舞いを申し上げます。この未曾有の大震災に会われた方々のことを思うと、言葉もありません。聖母の小さな学校も被災者と心をつなげて、できることをしなければと考えております。

さて、この 1 年、生徒たちも、不登校を通して表れた自分の課題に少しずつ気づき、そこに目を向け、努力をしてきました。その気づききっかけになったのは、10 月のスポーツフェスタでした。「ありのままの自分を見つめて 殻に閉じこもらずに 本当の自分を出していく！」というテーマでした。その時の生徒が自己と向き合った状態をよく表しています。そして、このテーマを意識しながら 2 学期、3 学期と学んでまいりました。教科学習はもとより、日本の伝統文化を学ぶ華道・茶道・陶芸、また、国際理解を深めるための中国語、そして、美術展見学や音楽鑑賞、龍安寺や三十三間堂など歴史を学ぶ旅、カヌーやスキー・柔道などのスポーツ教室、保育園の職場体験や盲導犬訓練センター見学、3 月には修学旅行（奈良）と多くの体験学習をしてきました。その大きな目標は唯一つ、社会に出る力をつけることでした。

スポーツフェスタでは、多くの方々の暖かい励ましを得て、自己肯定感や達成感を持つことができました。修学旅行では、人とずっと一緒に行動する力を目指しました。十分ではありませんが、少し身につけられました。3 月 20 日の「進級を祝う集い」には、原籍校の担任や教育相談部の先生方、そして、保護者と共に、その成長を喜びました。合わせて保護者自身の考え方の広がりや、また、家庭生活の多少の変化もありました。

また、原籍校でも、生徒たちを良く受け止め、課題を見すえ、適切な支援がなされ（京都府教育委員会フリースクール連携推進事業）、通知表への評価に関わる記載もなされたところです。

このように、不登校生徒が社会的自立に向けて学びを重ね、保護者と共に好ましい変化を遂げた 1 年であったと思います。来年度も同様に、原籍校と一体となって保護者を支え、生徒の教育にあたりたいと思います。ありがとうございました。



修学旅行「法隆寺」



修学旅行「東大寺」